

令和 5 年 6 月 14 日

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議
調査委員会
生活環境委員会

ペDESTリアンデッキの保全のための実地調査の報告

(1)目的

数年前より度々学生から教育生活環境調査を通じて、ペDESTリアンデッキの道が悪く、危険であるという意見が寄せられた。このため、平砂生活センターから第二・第三エリアの北部に至るまでのペDESTリアンデッキにおいて自転車走行時や歩行時に危険な溝、段差の調査を行う。

(2)調査方法

調査委員をはじめとした全代会構成員が現地（ペDESTリアンデッキ）に赴き、メジャーとカメラを用い、実地調査を行った。

(3)調査内容

平砂生活センターから第二・第三エリアの北部に至るまでのペDESTリアンデッキにおける自転車走行時や歩行時に危険だと考えられる溝・段差を確認し、メジャーを用いて深さ・長さを計測した。その結果、危険と思われる箇所が複数見つかった。

(4)調査詳細

危険だと考えられる溝については「幅 2cm 以上であり、自転車・歩行者が通行する可能性が充分にある箇所」、段差については「高さ 2cm 以上」という定義をし、この定義に基づいて危険箇所の判断をした。

実地調査の結果、ペDESTリアンデッキにおいて危険箇所が 20 箇所見つかった。調査結果についての詳細は別紙に記す。